

そ けい え ぞ もりかいづか
磯鶏蝦夷森貝塚

- ◇ 指定日 昭和31年4月11日
- ◇ 所在地 磯鶏
- ◇ 所有者 個人

磯鶏蝦夷森貝塚は、磯鶏小学校の東に広がる丘陵にあります。

縄文時代の貝塚で、動物の骨や角、貝殻などが出土しています。

古くは明治時代から知られており、新渡戸稲造^{にとべいなぞう}や東北帝国大学の長谷部言人^{はせべことんど}、内務省考査官の柴田常恵^{しばたじょうえ}などが訪れています。

昭和42年(1967年)の発掘調査では、縄文時代の人骨が見つかりました。「屈葬^{くっそう}」と呼ばれるひざを折り曲げた状態で埋葬されていました。

市内では人骨の出土例は少なく、宮古の縄文時代を知る上で重要な遺跡の一つといえます。



屈葬人骨